

# 平成 28 年度予算案のあらまし



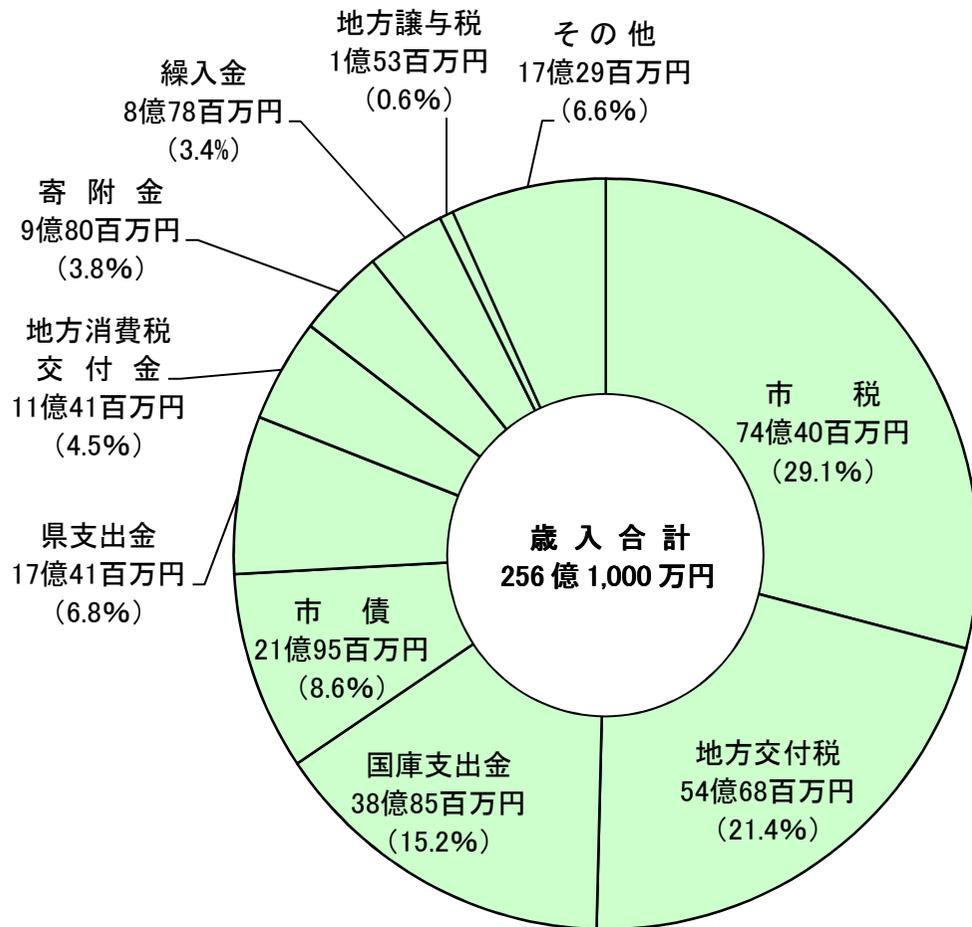
天 理 市

# 『平成 28 年度予算案』

◎一般会計予算 **25,610 百万円** (対前年度比 △1,160 百万円、4.3%減)

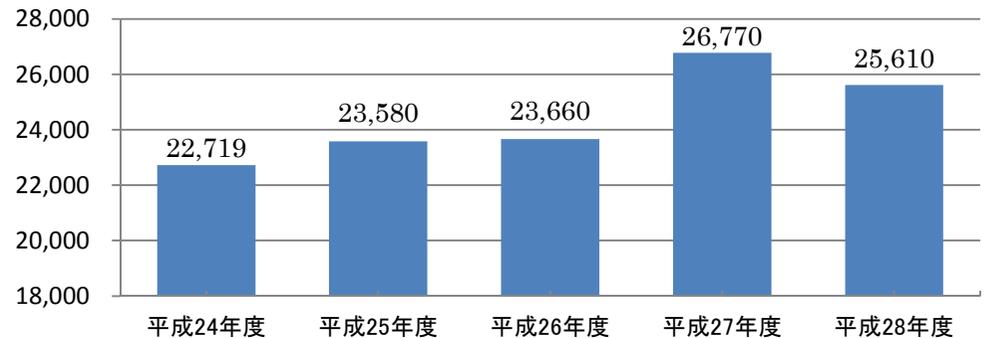
◎全会計予算合計 **47,153 百万円** (対前年度比 △966 百万円、2.0%減)

## 『一般会計 歳入』



## 予算規模

単位：百万円



### 〔主な歳入の状況〕

#### ①市税

市民税については、税改正により税率が下がったこと等による法人市民税の減収により、前年度と比較し 32 百万円の減収を見込む。固定資産税については、新築家屋が建築されたこと等により 66 百万円の増収を見込む。市税全体では前年度と比較し 71 百万円 (1.0%) の増加

#### ②地方交付税

基準財政需要額の増加を見込み、前年度と比較し 1 億 88 百万円 (3.6%) の増加

#### ③国庫支出金

都市計画街路事業に係る国庫支出金が増加するものの、前栽小学校整備事業に係る国庫支出金の減少等により、前年度と比較し 1 億 50 百万円 (3.7%) の減少

#### ④市債

前栽小学校整備事業債及びメディカルセンター建設事業債等、普通建設事業債の減少により、前年度と比較し 15 億 13 百万円 (40.8%) の減少

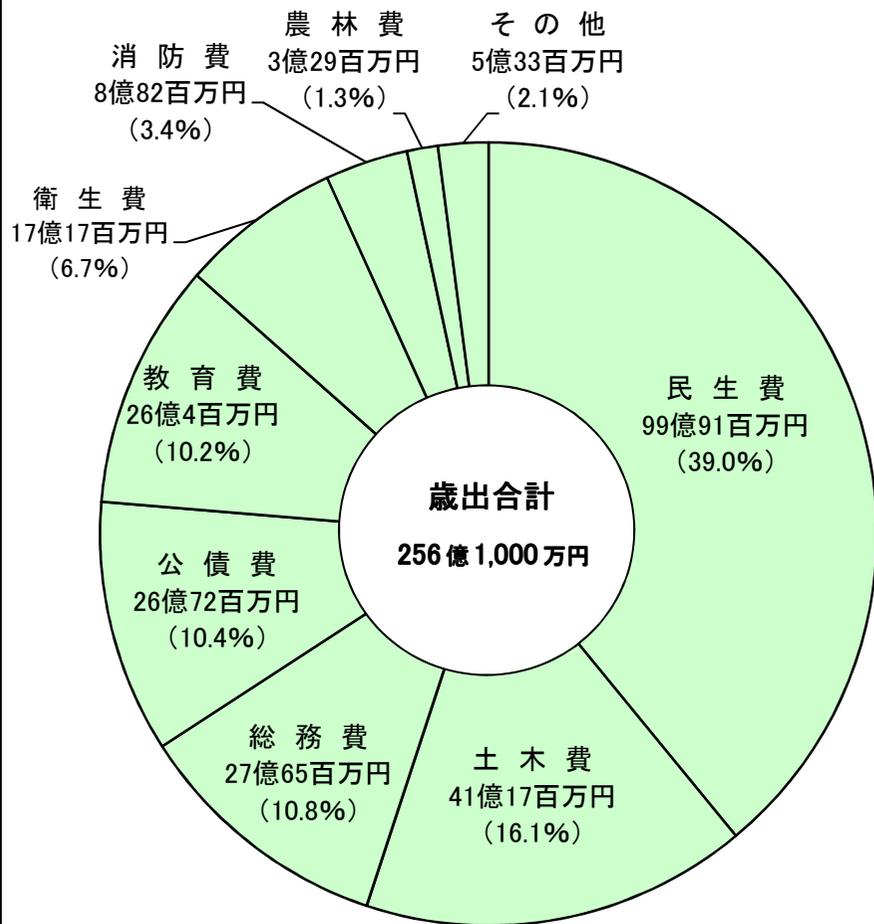
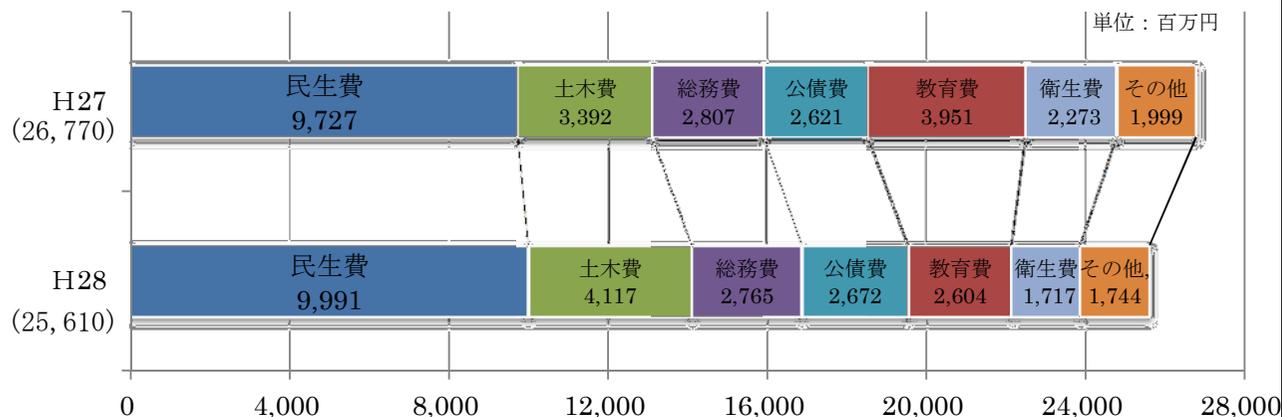
#### ⑤県支出金

民間保育所整備事業に伴う県補助金の皆減等により、前年度と比較し 88 百万円 (4.8%) の減少

#### ⑥繰入金

財政調整基金及び減債基金の繰入金の増加等により、前年度と比較し 54 百万円 (6.5%) の増加

# 『一般会計 歳出』



## 〔主な目的別歳出の状況〕

### ①民生費

民生費の予算額は99億91百万円で、前年度と比較し2億64百万円(2.7%)増加しており、歳出全体の39.0%を占めている。その内訳は、社会福祉費(障害福祉、老人福祉等)が43億91百万円、児童福祉費が43億61百万円、生活保護費が12億38百万円等となっている。

【主な増加理由】障害福祉サービス等扶助費の増加及び学童保育所建設工事費の増加

### ②土木費

土木費の予算額は41億17百万円で、前年度と比較し7億25百万円(21.4%)増加しており、歳出全体の16.1%を占めている。内訳は、都市計画費が32億30百万円、道路橋りょう費が5億78百万円、住宅費が1億13百万円、河川費が56百万円等となっている。

【主な増加理由】都市計画街路改良工事費(別所丹波市線)及び天理駅前広場等整備工事費の増加

### ③教育費

教育費の予算額は26億4百万円で、前年度と比較し13億47百万円(34.1%)減少しており、歳出全体の10.2%を占めている。内訳は、小学校費が8億68百万円、幼稚園費が6億3百万円、社会教育費(文化財保護、公民館等を含む)が4億92百万円となっている。

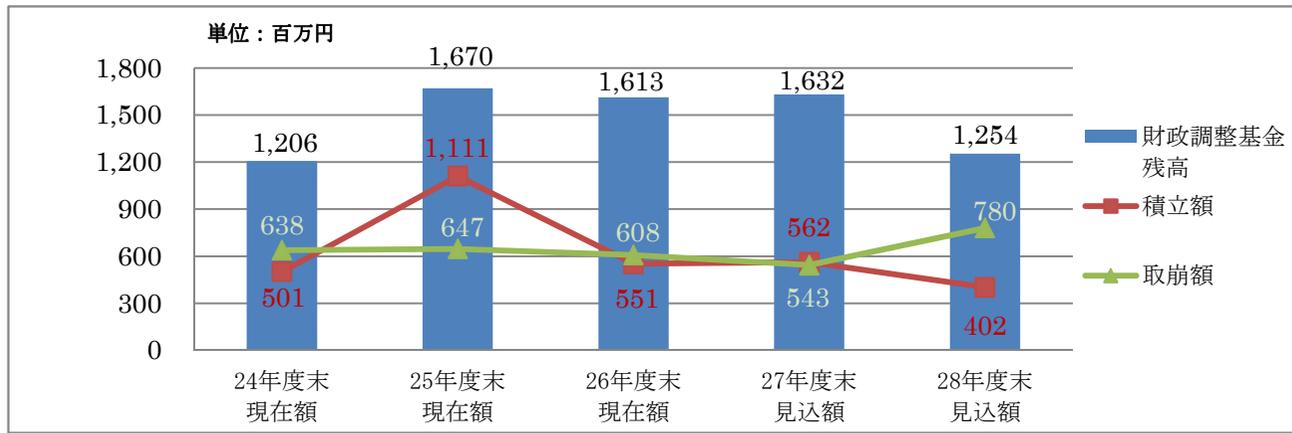
【主な減少理由】前栽小学校整備工事費の減少

### ④衛生費

衛生費の予算額は17億17百万円で、前年度と比較し5億56百万円(24.5%)減少しており、歳出全体の6.7%を占めている。内訳は、保健衛生費が5億58百万円、清掃費が11億59百万円となっている。

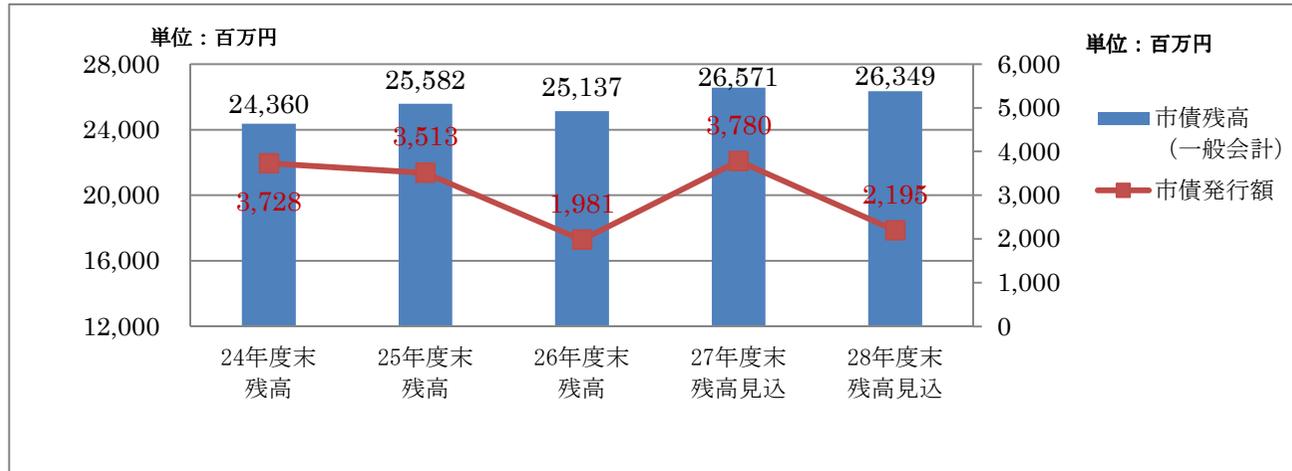
【主な減少理由】メディカルセンター建設工事費の減少

# 『財政調整基金と市債』



## 財政調整基金

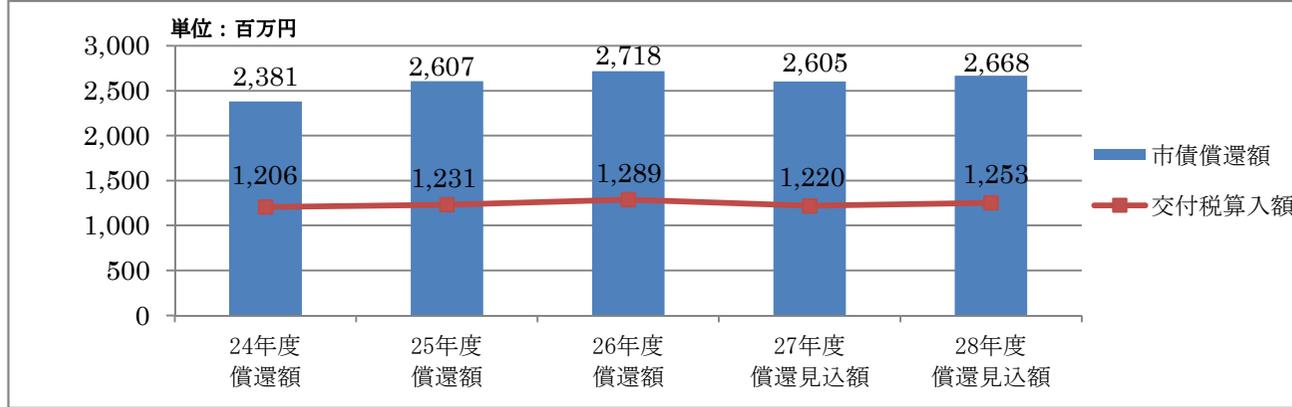
平成 28 年度財政調整基金の取崩額は 780 百万円となり、扶助費や繰出金が増加したことから、前年度当初予算を 30 百万円上回ることとなった。平成 28 年度末財政調整基金の残高見込額は、1,254 百万円で推移するものと見込む。



## 市債

平成 28 年度市債発行額は、2,195 百万円となり、前年度を 1,585 百万円下回ることとなった。これは、前栽小学校整備事業、メディカルセンター建設事業など、普通建設事業に係る市債が減少したことが主な原因である。

平成 28 年度末の市債残高は、26,349 百万円（前年度比 222 百万円減）で推移するものと見込む。



平成 28 年度市債償還額は 2,668 百万円（前年度比 63 百万円増）となる見込みで、臨時財政対策債等の元利償還金の増加が主な原因である。そのうち 1,253 百万円分については地方交付税により措置される予定である。

# 『これからも住み続けたいまち天理』を目指して～四つの基本目標～

平成28年度予算編成においては、地方創生と1億総活躍社会の中で、「これからも住み続けたいまち天理」を目指して以下の四つを基本目標として掲げ、それぞれに設定した施策に重点化した予算編成を行いました。

【新規】…新規事業 【拡充】…拡充事業 【創生】…「まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業 【大綱】…教育大綱事業

単位：千円

## I 地域資源と新しい技術・多様な働き方を融合し、安心・充実して働ける場を創出する

① 天理マルシェ開催事業	1,500
② 商工業振興（商店街活性化事業補助・中小企業金融対策等）	12,540
③ 特産品開発事業	240
④ 農業経営法人化等支援事業補助金【新規・創生】	1,000
⑤ 経営所得安定対策直接支払推進事業	4,789
⑥ 水と農地活用促進事業、市単独土地改良事業、諸土地改良事業	104,192
⑦ 農村総合整備事業	52,896
⑧ 企業立地支援事業（工場等設置奨励金）	44,364
⑨ 産業振興館運営事業【新規・創生】	12,477

### ⑨産業振興館運営事業 12,477千円

場所や時間にとらわれない柔軟な働き方が可能な場「テレワーク拠点」を産業振興館で平成28年3月から開始しますが、テレワークの認知度は低いいため、事業所に実際のテレワーク現場を見てもらい、委託先業者からテレワークについて説明や体験を実施します。

また、講習会を開催し、テレワークのPRや普及に取り組み、事業所向けにテレワーク導入までのマニュアルを作成し、テレワークの推進を図ります。

## II 天理ならではの魅力を活かし、新しい人の流れを作る

① 「光の祭典」実施事業	2,600
② 観光物産センター運営事業	4,266
③ 観光振興（てくてくてんり観光イベント等）	8,624
④ 天理・桜井・磯城地域ブランド力強化事業【新規・創生】	1,000
⑤ 天理駅前広場にぎわい創出事業【新規・創生】	6,500
⑥ 駅前広場等整備事業	729,724
⑦ 地域経済循環創造事業【新規・創生】	40,010
⑧ ラグビーWC、東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地誘致事業【新規・創生】	2,236
⑨ 天理市北部総合型地域スポーツクラブ創設支援事業【新規】	1,200
⑩ 高原地区ライフスタイル発信事業【新規・創生】	3,358
⑪ 三世同居・近居住宅支援事業【創生】	2,000

### ⑩高原地区ライフスタイル発信事業 3,358千円

地方創生に取り組む中でプロモーション活動を行う自治体も多く、移住・定住先には選ばれるためには、これまで以上に都市部住民向けの観光誘客とは異なる切り口をもった積極的なプロモーション・誘致活動が必要となります。このような中、高原地区の豊かな自然環境、伝統ある歴史・継承された文化資産などの魅力と地域に根ざす人々の日々の暮らしを発信するライフスタイルブックを作成することにより移住後のイメージを喚起させるとともに、同ブックをPR活動ツールとして活用し、都市部等で開催される移住・定住フェア等のイベントでプロモーション活動を行います。



※スタイルブック  
作成イメージ

### Ⅲ 子どもを産み育てたい人の希望が叶う、選ばれるまちになる

① 子ども医療費助成【 <b>拡充</b> ・ <b>創生</b> 】	138,870
② ひとり親家庭等医療費助成	42,984
③ 児童手当の支給	1,169,700
④ 児童扶養手当の支給【 <b>拡充</b> 】	335,064
⑤ 子育て支援事業 (地域子育て支援拠点事業補助【 <b>拡充</b> ・ <b>創生</b> ・ <b>大綱</b> 】等)	23,460
⑥ 学童保育の実施	85,744
⑦ 山の辺学童保育所新築工事	60,215
⑧ 保育サポート教員の配置(幼稚園)【 <b>拡充</b> ・ <b>創生</b> 】	14,400
⑨ 長時間預かり保育サポート事業(樺本・二階堂・柳本幼稚園)【 <b>拡充</b> ・ <b>創生</b> ・ <b>大綱</b> 】	7,531
⑩ 妊婦一般健康診査費用助成	50,920
⑪ 子宝支援助成(不妊治療費助成)	1,250
⑫ ICTを活用した英語授業推進事業	700
⑬ スクールサポート活用事業【 <b>拡充</b> ・ <b>創生</b> ・ <b>大綱</b> 】	13,440
⑭ 学校・地域パートナーシップ事業	6,500
⑮ 読書手帳活用の推進【 <b>新規</b> ・ <b>大綱</b> 】	119
⑯ 地域の豊かな社会資源を活用した多様な教育活動支援事業	430
⑰ ALT(英語指導助手)招致事業(小・中学校に各1名)	10,998
⑱ 福住学区英語教育推進事業【 <b>新規</b> ・ <b>創生</b> ・ <b>大綱</b> 】	1,977
⑲ 小中学校及び幼稚園改修事業	72,434
⑳ 前栽小学校整備事業	299,146
㉑ 山の辺小学校プール改修等事業	95,771
㉒ 山の辺幼稚園園庭芝生化促進事業	2,308
㉓ 児童・生徒の休日授業	189
㉔ 放課後こども教室【 <b>新規</b> ・ <b>創生</b> ・ <b>大綱</b> 】	710
㉕ スクールカウンセラー巡回相談事業【 <b>新規</b> ・ <b>創生</b> ・ <b>大綱</b> 】	4,060
㉖ 学校図書館開放事業【 <b>新規</b> ・ <b>創生</b> ・ <b>大綱</b> 】	226
㉗ いじめ防止対策推進事業	807
㉘ 不登校、ひきこもり対応(適応指導教室、学科指導教室の充実等)	8,129
㉙ 特別支援教育支援員の配置(小中学校)	16,275

#### ①子ども医療費助成事業 138,870千円

子ども医療費助成は、医療保険制度の一部負担金を助成することにより、対象者の健康の保持及び福祉の増進を図る目的で実施しています。県が助成金の1/2を補助し、市で残りの1/2を負担します。現在、就学前までの入・通院と小学生・中学生の入院について助成の対象となっておりますが、平成28年8月から県の助成範囲の拡大の中、通院についても中学校卒業まで拡大実施します。(拡大部分については一部自己負担あり)。

#### ⑱福住学区英語教育推進事業 1,977千円

福住小中学校に専属のALT(外国語指導助手)の配置を行います。語学指導に経験豊富な民間事業者のALTを活用し、福住小中学校の少人数学習を活かした英語学習を展開することにより、特色ある教育を推進し、多くの生徒、保護者に選ばれる学校づくりを進めます。



#### ㉖学校図書館開放事業 226千円

学校と地域住民のつながりを深め、学校を身近に感じてもらうことを目的として、校区内の未就学の子どもたちを対象に小学校の魅力、雰囲気を感じ、親しみを持ってもらえるよう、学校図書館を開放します。平成28年度は前栽小学校で実施します。



※完成イメージ

## IV 垣根を越えた連携・協働で、暮らしやすく、住み続けたいまちをつくる

①	メディカルセンター管理事業	2,485
②	特定健診、肝炎検診、各種がん検診等の実施【 <b>創生</b> 】	36,095
③	各種予防接種、子宮頸がんワクチン等接種事業の実施【 <b>創生</b> 】	152,489
④	在宅医療・介護連携拠点整備事業【 <b>新規・創生</b> 】	9,000
⑤	メディカルセンター地域包括ケア拠点事業【 <b>新規・創生</b> 】	1,814
⑥	健康まちづくり支援事業【 <b>新規・創生</b> 】	100
⑦	介護予防事業（活脳教室（脳を活性化する教室）」実施事業【 <b>新規</b> 】等）	16,566
⑧	地域支え合い事業(高齢者福祉)	12,331
⑨	認知症対策推進事業【 <b>新規</b> 】	134
⑩	街づくり協議会実施事業	621
⑪	まちづくりマップ活用掲示板設置事業【 <b>新規・創生</b> 】	600
⑫	地域総活躍まちづくり提案事業【 <b>新規・創生</b> 】	3,000
⑬	地域防災計画改訂事業【 <b>新規</b> 】	1,878
⑭	奈良県防災行政通信ネットワークシステム構築事業【 <b>新規</b> 】	16,635
⑮	災害対策（自主防災組織補助、非常備消防事業、備蓄物資購入等）	50,600
⑯	浸水対策及び河川改修事業	52,590
⑰	自転車道整備工事	15,745
⑱	公園整備事業	39,316
⑲	立地適正化計画策定事業	12,393
⑳	コミュニティバス「いちょう号」運行 2路線【 <b>拡充</b> 】	20,765
㉑	定住自立圏構想推進事業	684
㉒	移動図書館車巡回拡大事業【 <b>新規</b> 】	343
㉓	図書館（室）蔵書充実事業【 <b>新規</b> 】	576
㉔	山辺・県北西部広域環境衛生組合事業【 <b>新規・創生</b> 】	85,206
㉕	奈良大学等大学包括的連携事業【 <b>新規・創生</b> 】	20
㉖	公共施設等総合管理計画策定事業【 <b>新規・創生</b> 】	560
㉗	未収金対策支援事業	1,071

### ⑤メディカルセンター地域包括ケア拠点事業 1,814千円

高齢者を地域社会として支える体制づくり、医療制度の充実が求められている中、新メディカルセンターの2階の一部を利用し、地域包括ケア広場、まちかど相談室、健康ステーションを設置します。介護予防教室などの実施、看護職による健康・介護の相談及び自動血圧計の使用や活動量計の貸出を実施し、地域包括ケアの推進を図ります。



### ⑦活脳教室（脳を活性化する教室）」実施事業 369千円

高齢者人口の増加に伴い、認知症高齢者が増加する見込みがあるため、新メディカルセンターにおいて高齢者の方を対象に「活脳教室」を週2回実施します。小学校程度の読み書き、計算、数字盤を使った数字並べをすることで脳の活性化を図ります。

また教室カリキュラムに、市内民間温泉施設での交流会開催などを取り入れ、楽しく学習継続できるよう工夫するとともに、参加者同士のコミュニケーションをより深めることで、更なる脳の活性化を図り、認知症予防を行います。

### ㉔山辺・県北西部広域環境衛生組合事業 85,206千円

現焼却施設の老朽化に伴う更新にあたり、平成28年4月に県下10市町村で一部事務組合を設立して、平成35年度を目途に新焼却炉及び粗大ごみ処理・リサイクル施設を建設します。

この広域化により、コストの大幅な削減と大型炉による安定的なごみ処理が可能となり、環境への負荷低減が図られ、持続可能なごみ処理体制を目指していきます。

# 『主要な事業の概要』

## ○天理駅前広場等整備事業 ～天理駅前広場を活用したにぎわい創出～ 事業費 776,234 千円

### (県市まちづくり連携推進事業)

天理市の玄関口である天理駅周辺の活力とにぎわいの創出のため、『天理駅前広場の再整備』を行います。

平成 27 年度に実施した交通ターミナル及び駐車場整備に引き続き、駅前広場のイベントスペース、修景施設を見直すとともに、「食と旅の拠点施設」、子供遊具や健康遊具、ステージ等を複合的に設置し、多世代の市民や来訪者が憩い集える場の提供と本市の魅力を発信できる拠点としての空間整備を図ります。

このうち「食と旅の拠点施設」については、地元農産物を使った食の提供と自転車やウォーキングを中心とした周遊観光の提供を軸に、地域経済において新たな政策を展開する有効な手段として、官民連携による設置、運営を予定しており、国の地域経済循環創造交付金事業により地元金融機関と産・官・学が連携した『地域経済の好循環を生み出す事業』として実施します。

広場の完成を見据えて、これまで県と連携して取り組んできている「天理マルシェ」を始めとする様々なにぎわいづくりを一層充実させるため、ステージや公園スペース、新ナビ天理を活用し、本年度から市民団体と連携して音楽・文化・産業・スポーツなどの振興、発信力強化を目的とした様々な事業の企画・準備を行います。

また、新しい広場を市民の皆様が積極的に活用していただくための利用方法の手引きや広場をきっかけとした天理の魅力発信のためのPR素材を制作するとともに、これらの事業を市民主体で行っていくため、積極的に参加していただく市民団体に対し、企画実施や運営にかかる経費の一部を助成します。

### (主な経費)

- ・施設整備事業 (ハード事業)
  - 設計監理等委託費 他 35,046 千円
  - 工事請負費 694,678 千円
- ・にぎわい創出等事業 (ソフト事業)
  - イベント等業務委託費 6,010 千円
  - 支援助成金等 40,500 千円



### (財源)

市 (市税など)	113,615 千円
国	175,419 千円
市債	487,200 千円



### 【参 考】

■平成 26～28 年度天理駅前広場等整備事業費 (見込)

全体事業費 1,432,358 千円

財源内訳

国庫補助金等	667,534 千円 (交付税措置含む)
県市連携補助金	142,750 千円
市	622,074 千円

県市連携事業 (奈良県との連携事業) であることから、原則次年度以降に市債償還額のうち交付税算入額※を差し引いた額の 4 分の 1 が県より補助されます。(※市債償還額のうち 30% 交付税措置があります。)

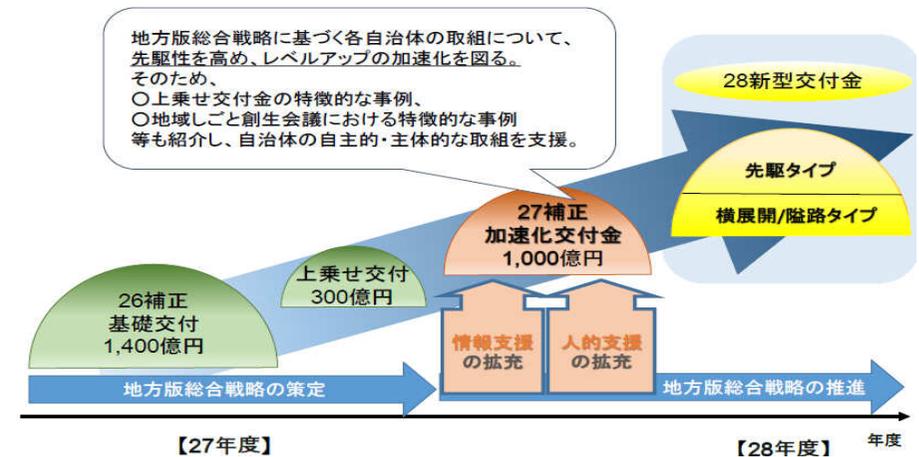
# 地方創生加速化交付金事業（平成 27 年度 3 月補正）

## 事業概要・目的

- 国において、一億総活躍社会の実現に向けた緊急対応として、「希望を生み出す強い経済」を実現するため、また「子育て支援」や「安心につながる社会保障」も含め「新・三本の矢」の取組に貢献するため、地方創生交付金が創設。
- 地方版総合戦略に基づく各自治体の取組について、上乗せ交付金等での特徴的な事例も参考にしつつ、先駆性を高め、レベルアップの加速化を図る。
- KPI と PDCA サイクルを組み込んだ自治体の自主的・主体的な取組を支援。

※本市においても 2 事業を実施

## 地方創生加速化交付金の概要（イメージ）



## 1. 切れ目のない子育て支援「天理市版ネウボラ」構築で、 柔軟な「働き方改革」 47,748 千円

子育て世代が安心して子どもを産み育てることができる支援体制を構築するため、地域子育て支援の中核施設として「子育て世代すこやか支援センター」を開設し、これを拠点として本市の実情に即した妊娠前から出産、子育てに至るまで切れ目のない一貫した支援を行う「天理市版ネウボラ」を構築する。

また、しごとセンターやテレワーク拠点と連携し子育て世代の就労支援を行う。

### ○事業費

・電子母子手帳の導入	9,184 千円
・ベビープログラム他各種講座等	861 千円
・産後ドゥーラ養成等	974 千円
・施設用備品、空調設備等	10,940 千円
・子育て交流用備品（外遊び用）	4,198 千円
・子育てフェスタの開催等	1,330 千円
・施設整備改修工事費	20,261 千円

## 2. 観光資源と連携した天理の地場産業競争力強化事業 32,138 千円

今年度取り組んでいる「ブランディングプロデューサー」による天理ブランドの構築を加速させるため、地域で作られる農産品や工芸品などを、天理を象徴する映像や写真として取りまとめ、様々な媒体や機会を通じて発信することで地域のブランド力を向上させ、交流人口の増加、定住移住促進、産業活性化を図る。

また、天理の産品を天理ブランドでつなぎ、新たな産品開発などにも取り組んで地場産品の競争力強化を図る。

### ○事業費

・天理ブランド発信力強化支援	14,300 千円
・地場産品の商品開発・販路拡大支援	4,000 千円
・トレイルセンター什器・備品	6,788 千円
・北部「伝・山の辺の道」道標設置	4,550 千円
・南部・柳本周遊ルート整備	2,500 千円